



若木小だより

若木よ 巨木となり 森を成せ

NO. 2 令和6年5月
小山市立若木小学校
校長 長嶋 裕子

あ：明るい学校 い：いきいき活動 う：美しく え：笑顔がいっぱい お：おもいやり

◆小山中学校区共同掲載「つなぐ」「そろえる」「つどう」～小山中学校ブロック小中一貫教育～

小山市では、各中学校区で小中一貫教育を進めており、小山中ブロックは、小山中、小山第一小、小山城北小、若木小の4校で、子どもたちの「学びや育ちをつなぎ、指導をそろえる」取組を行っています。

その一環として、5月8日に、4校の教職員が小山中学校に集まり、授業の様子を参観しました。授業参観後は、各校の教職員が「心づくり」「頭づくり」「体づくり」の3部会に分かれ、小山中学校区の児童生徒の「よいところ」や、「これから伸ばしていきたいところ」を共有し、4校で共通して実践する内容を話し合いました。



○心づくり：「進んであいさつをしよう」などの「生活基盤10か条」の実践

○頭づくり：表現力を高めるための「書く」活動の充実

○体づくり：投力や持久力を高める運動の充実

各校での取組の他に、合同で行う活動もあります。中学生が出身小学校へ出向き、朝のあいさつ運動（ハロープロジェクト）を行ったり、小学生と一緒に清掃活動（小中合同ピカピカ大作戦）をしたりする予定です。本学区の子どもたち一人一人が自らを高めることができるよう、同じ中学校区の教職員がともに、「義務教育9年間の子どもの学びや育ち」に関わってまいります。

◆自己有用感を高めるために ～認め合い～

子どもは、どの子にもそれぞれの「よさ」「もちあじ」があります。学校は、いろいろな「よさ」「もちあじ」（個性）をもった子どもたちの集まりです。友だちや先生、保護者、地域の方など、多くの人との関わりの中で子どもたちは様々なことを学び、自己有用感（他者や集団の関係の中で、自分たちの存在を価値あるものとして受け止める感覚）を高めていきます。

今年度も、若木小では「自己有用感の育成・向上 認め合い」を教育活動の柱として取り組んでいきます。学校・家庭・地域の皆さまで、協力して子どもたちのよさを見だし、伸ばしていけるよう、一緒に取り組んで参りましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



◆4月23日 6年生 歴史学習

小山市立博物館やその周辺史跡を訪ね、歴史学習を行いました。火おこし体験では、火を付ける難しさ、現代技術のありがたみや技術発展の素晴らしさを体感していました。



<児童の振り返り> ・火おこし体験をやって、火のありがたさを感じた。

- ・火おこし体験が楽しかった。火を付けるのがとても難しかったが、友だちと協力して火を付けることができた。
- ・小山市が瓦つくりで有名だと初めて知った。小山は思川のおかげで水が豊かで、それを生かした瓦つくりをしていた。今は、畑や住宅地になっているところまで瓦つくりの場所になっていて、広い範囲で行われていることにびっくりした。

◆4月25日 避難訓練

今年度初めての避難訓練を行いました。子どもたちは、真剣に取り組むことができました。子どもたちには、次のような話をしました。

「みなさんの命はたった一つしかありません。大切なことは『自分の命は自分で守る』です。災害は、いつどこで起きるかはわかりません。学校への行き、帰り、外で遊んでいるときなど、『今、ここで地震がおきたら、倒れてくるもの、危険なことはないかな？ どう行動すればいいかな？』と考えてみる。まずは、『自分のまわりの危険かもしれないこと』に自分で気付けるようになりましょう。(要旨)」

今後、梅雨や台風の季節を迎え、豪雨や強風も心配されます。ご家庭でも、災害が起きたらどうするか？ 家族が離れ離れになった場合の連絡方法「①集合場所・避難場所」「②伝言メモの残し方」等を話題にして、災害への意識を高めていただけるとありがたいです。



◆5月8日 授業参観・懇談会

第1回授業参観並びに懇談会を開催しました。どの学級も、いつも以上に頑張っている子どもたちの姿がありました。やはり、お家の方々に見てもらえることは、どの子どもにとっても嬉しいようです。ご多用の中、たくさんの保護者の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



◆5月14日 PTA運営委員会①

退任された5名のPTA役員の方々への感謝状贈呈式並びに第1回運営委員会が開催されました。学年・広報・成人・校外委員会の各委員長から、今年度の活動内容の説明がありました。

また、本部役員、各委員長、クラス役員の方々の協力により、コロナ禍以来のPTA奉仕活動を実施する方向で準備してくださっているとの報告もありました。校庭や体育館・プール周辺の除草や、エアコンのフィルター清掃等をしてくださる計画のようです。お忙しい中、ご協力くださる保護者の皆さま、子どもたちのための安心・安全な教育環境づくりに向けて、本当にありがとうございました。



◆転退職職員・退任PTA役員の紹介

転退職された先生方、PTA役員の方々、大変ありがとうございました。

○転退職職員

○退任PTA役員



◆お知らせ